



# 誠 実



発行者：2学年職員  
発行日：令和7年6月23日

ペンタス（希望が叶う）

## 生徒総会を行いました！



▲ 学校への要望で多数決を取りました。



▲ 生徒会旗を初披露しました。



▲ 全クラスの評議員が学級紹介をしました。

18日（水）の6校時に生徒総会が開催されました。

生徒会としての1年間の活動内容や各委員会の活動内容、生徒会費の予算などの報告を受け、承認を取りました。その後、みんなで考えたい議題に執行部が返答を述べ、学校への要望で多数決を行いました。来年度は、意見が次々出る白熱した議論を期待します！

このほか、総会の中で美術部が製作した生徒会旗の発表や評議員による学級紹介もありました。みなさん一人一人が生徒会の一員である自覚を高め協力しながら、生徒会旗にあるように「一人一人が輝ける存在」になるような学校にしていきましょう。

総会を準備・運営した生徒会執行部、生徒会旗を製作した美術部員、学級紹介を頑張った評議員とイラストを描いた人——みなさん、本当にありがとうございました！

最後に、総会パンフに載せた2年各組の学級紹介イラストを掲載します。



1組「一所懸命～1人1人が主役～」

2組「三最～最強・最大・最高のクラスに！」

3組「HAPPY TURN～愛モス～」

各クラスともこの目標を胸に、2年生の1年間を“かけがえのない1年間”にしましょう！



#### 道徳通信

## よい良い白岳中学校をめざして！

先々週は、「より良い学校生活」をテーマに、生徒総会を舞台としたリアルタイムな教材で学習しました。

制服は、ジェンダーフリーの観点などから改善が進んでいます。個性の伸長をめざし私服に変わった学校もありますが、自律が備わっていないと「何でもあり」の無法状態になるのは、歴史が示しています。

社会でも、工場や土木作業、レストランなど、様々な現場で同じ服を着ていますね。これらの服も、仕事を行う上での機能性や社員としてのチーム意識などを考慮した1つの「制服」といえるのではないのでしょうか？

夏休みに職場体験を控えた今だからこそ、制服の意義を今一度考えてみましょう。

### 『制服は誰のもの』あらすじ

校長先生から制服リニューアルについて生徒みんなでアイディアを出してほしいと提案を受けた生徒会長の「僕」は、学校内外でアンケートを実施するが、多様な意見に途方に暮れる。「制服は誰のものだろう？」——取組当初に出た言葉を思い出し、再度議論を重ねる中で、制服は先輩や地域の人などの思いが詰まった、後輩たちに送る「目に見える校風」であることに気づいていく。

(教材：『あすを生きる②』日本文教出版)

### みんなの声

#### 制服は誰のためのもので、どんなもの？

- みんなのもので、学校の象徴。
- 着る人のための物だけど、その人や学校の校風などの印象にもつながるもの。
- みんなが着用しやすく不快にならない物。自由度が上がっても「何でもあり」な物ではないと思う。
- みんなが楽しく過ごすために必要な物。
- 服などでいじりが起きないために必要だし、その学校の証になる。
- 勉強に集中できるように作られた物で、文句を言う人は勉強に集中できていないのではないかなと思う。
- 大人になって仕事着を着るための慣れ。

#### 学校生活をよりよくするためには？

- みんながルールやマナーを守り、他者を思いやる気持ちを持つ。
- 自分だけでなく、一人一人の意見を聞き、互いに助け合い、迷惑をかけない。
- 自己中心にならず、みんなのことを考える。周りに流されず、注意する。
- 自分中心の学校ではないと自覚する。
- まず校則を守ってから校則を変えていくのが必要で、変えるなら明確な正しい理由をつけた方がいい。
- そのルールがつくられた意味を、しっかり理解して行動することが大切。
- 昔からある伝統をこれから先も継いでいくことが大切。

※ 意見は要約しています！